慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1966
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.59, No.4 (1966. 4)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19660401--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾経済学会

三田學會雜誌

1966年 4月号

国際経済論特集

論　説

南北問題と東南アジア経済……山本　登　1
——一つの政策論的アプローチ——
購買力平価説と賃金水準……佐々波楊子　14

資料・研究ノート

経済発展と二重経済……矢内原　勝　32
関税同盟理論の新展開……大山道広　42
——J・ヴァネックの近著をめぐって——
低開発国の貿易拡大の諸方策……深海博明　60
——日本経済研究センター南北問題コンファレンスにおける論議に基づいて——

書　評

矢内原　勝著
『低開発国の輸出と経済開発』……川田　侃　78
米国商務省地域再開発局
『西欧諸国に於ける地域再開発』……高橋潤二郎　83

新刊紹介

59巻 4号

昭和四十一年三月十一日　第三種郵便物認可
昭和四十一年四月一日　発行（毎月一日発行）

三田学会雜誌

昭和四十一年三月号

定価　金一二〇円（送料一二円）

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 59, No. 3　　March, 1966

CONTENTS

Articles

An Estimation of the Gross Population in Japan at the Beginning of the 17th Century ……*A. Hayami*　1

The Theory of Consumers' Surplus: A Survey……*H. Osana*　37

Note and Memoranda

History of the Studies on William Godwin in Japan ……*A. Shirai*　72

The Population Trends in *Musashi-no-kuni*, 1823～1876 ……*Y. Sasaki*　85

Estimation of Production Function in Simultaneous Equations System ……*M. Kuroda*　101

Book Reviews

R. R. Neild; Pricing and Employment in the Trade Cycle——A Study of British Manufacturing Industry, 1950～'61—— ……*Y. Torii*　114

An Analysis of Finance Capital in Japan, by Kazuo Shibagaki ……*M. Uekusa*　121

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI
(The Keio Economic Society)
Editorial Communications to be sent to the Editor, Keio Gijuku Keizai Gakkai, Keio University, Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Price 120 yen

南北問題と東南アジア経済

――一つの政策論的アプローチ――

山本　登

一、南北問題の進展

一九六〇年代を迎えて開花期に入った「南北問題」は、たしかに一九六四年三―六月の第一回国連貿易開発会議の開催を契機として、時代の脚光を浴びるにいたった。東西問題と並んで、南と北との間の調整は、今後の国際政治、世界経済の動向を規制する要因として、軽視できない課題となっている。周知の如く、この両問題は個々別々にではなく、互に絡み合って展開を示しているところに、いっそうこの課題の性格の複雑性と解決の困難性が見出される。

一面からいえば、東の陣営の国々も、西の陣営の国々も、いかにすれば将来において南の国々を自己の陣営に誘引しうるかに深い関心を寄せている。また他面からいえば、南の国々は、東西いずれの北側の国々との緊密な関連の樹立によって、その将来の発展を確保しうるかについて、吟味を重ねているかの如くである。さらにその中間的な方策として、南の国々同志の結合によって（例えばA・Aグループの結成）新たに第三の世界を形成しようとする試みも行われている。南の国々にとって、どの道が政治的安定と経済的発展の促進のために、最も有利であり且つ有効であるかは、軽々しく判定を許さないとこ

新刊紹介

J. U. ネフ著 宮本又次他訳『工業文明の誕生と現代世界』……渡辺國廣 88
H. G. ジョンソン著『岐路に立つ世界経済』……深海博明 89
山本登 加藤寛編集 井口東輔『世界経済の新段階 ―協力と統合へ　日本の進路―』……唐木圀和 90